

第3回評価委員会での主なご意見（要約） ～中期目標・中期計画(案)に関するもの～

委員：具体的なものがない、5年間の間に何をしていくのかわからない。

病院：具体的には年度計画で示すものである。中期計画は方向性だけを盛り込んでいる。

委員：目標値があるところと、ないところがあるが、この差がわからない。計画も1期とほとんど変えていない。文言の整理にしか見えない。

市：年度計画と中期目標、中期計画は違う。他の団体を見ても中期目標上では数値がないのが現状。5年の間に医療は動いていくものなので、目標は年度計画でたてて、さかのぼって修正ではなく、その時々につくるものである。

委員：それでも目標値がないと意味をなさない、目標値があつてそれに向かっていくのが目標ではないのか。目標を設定してできなくてもいいのではないか。

委員：数値は出ていなくても、地域の希望や今までできていないことは具体的に描くべき。紹介率も説明があつたが、見かけ上で下がる数字はおかしい。なすびんネットも双方向にするなど地域のことを考えてほしい。

収支について問題があるので、地域の希望や今までできていないことの解決策については、あれこれ具体的に中期計画に盛り込むことはできにくい状況である。

病院：中期計画は、達成できないと評価が下がるものであり、実現できないことは逆に書けない。いわれている中から実現できるものを書いていくことが精いっぱいである。

委員：それなら、未収や診療報酬漏れについても取り組む内容を書くべきである。取り組んでいることはわかっているが、希望でもなんでも具体的に書かれていないと、外から見ると何にもわからない。

市：達成できなくても取り込んでいたら評価に値するのか。取り組みのプロセスは見てもらえるのか。

委員：当然である。5年でできるのか、10年かかるのかが見えないと中期計画にならない。今回の計画は先が見えるものではなく、1期の文言を変えただけである。すごく努力されているのに外向きに見えていないことで、ずいぶんと損しているようにしか見えない。期待しているのに、期待できない。

委員：同意見で、文章からは何も見えてこない。

病院：医療構想自体が揺れ動いているのだから、現状からこの先を見据えることは困難な状況にある。ただ、病院としては急性期であり続けることは命題であり、これは変わらない。この先、具体的に構想が出てからでも内容を適宜変えていくやり方を考えている。

委員：項目一つ一つについて、もう病院が限界なのか、まだまだ出来る、改善することが出来るのを項目単位で見えるようにしないと、外向きにはなにもわからない。

委員：提案として、注力すべきところについては目標値として掲げるのはどうか。

委員：個人的な希望としては目標と実施の乖離を出すようにはしてほしい。そうすることでやってもできないのか、やった結果ができたのかは見る事が出来る。もう一つ、消費税があがることについてはどこかに盛り込んでほしい。

委員：コウノドリを通じて学生などが注目してくれている。そういう時期だからいろいろとアピールしていけばいいのでは。